

令和8年4月14日

小平市長  
小林 洋子 様

小平市議会公明党  
幹事長 幸田 昌之

## 市民生活を守る政策に関する緊急要望

本市では、令和8年度予算が可決・成立し、新年度を迎えていますが、依然として先の見えない物価高騰に加え、イラン情勢により、燃料費や石油由来の製品価格の高騰により、市民の不安は、さらに大きく広がっています。

令和8年度予算の中で様々な対策は行っているものの、まだまだ、不十分であり、もっと出来る施策はあると考えます。東京都の補助事業も活用できるものは、更に活用し、物価高騰に苦しむ市民生活を下支えしていただきたい。また、今後の国や東京都の動向を注視していただくことも踏まえ、市議会公明党として、下記について緊急要望致します。

### 記

- 1, 本市において、誰もが安心して発達検査を受けられる体制を整備することを目指して、令和8年度の東京都予算に計上された「発達検査体制整備支援事業」の早期実施。
- 2, 子育てをする保護者のリフレッシュや外出、病気等の支援として、東京都が実施する「ベビーシッター利用支援事業」を活用し、ベビーシッターを安価に利用できる体制の実施。
- 3, 市内の公立小中学校における家庭支援と均衡を図るために私立小中学校に通う児童・生徒の家庭支援として東京都の補助事業「私立小中学校給食費等負担軽減市町村補助」の早期実施。
- 4, 児童・生徒のために働く職員の職場環境の改善のために、特別教室の空調設置について、公立小・中学校の支援と都立学校における設置を促進する東京都の補助事業「公立学校の空調設置事業」（特別教室等）の早期実施。
- 5, スマートフォンを持っていない方や、東京アプリを取り込めない機種利用者への東京都補助制度「高齢者のデジタルデバインド解消に向けたスマートフォン活用支援事業」の活用および手続き代理申請制度の周知。
- 6, 予断を許さないイラン情勢による物価高騰を見据えた市民生活を守る対策を行うため、市財の活用及び基金を取り崩してでも消費者・事業者への緊急経済支援の実施。

以上